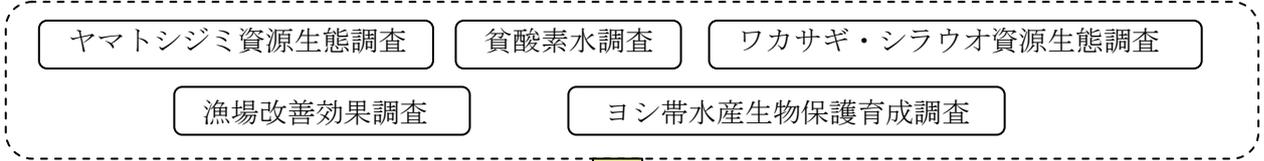
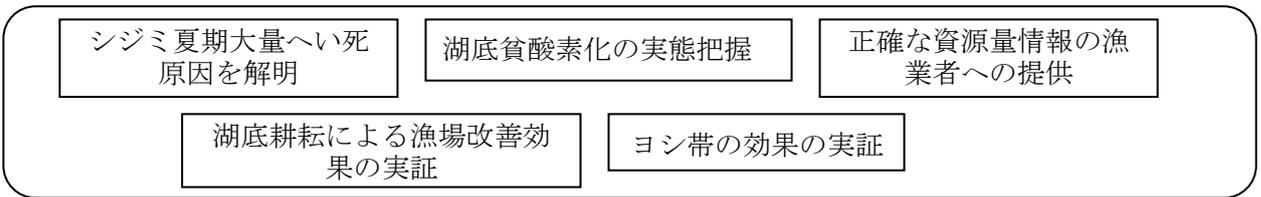


宍道湖

[経緯] 「第Ⅰ期宍道湖・中海水産資源維持再生構想」に基づく取り組み(H18~H22)



[得られた成果]



[新たな課題の発生]

近年、湖の状況が急激に変化！！

生まれない
(再生産の不調)

育たない
(冬期大量へい死)

シジミ資源崩壊！！

藻類・沈水植物の大量繁茂

ワカサギ・ハゼなど
魚介類の激減

アオコと水草の湖に！！

資源量(万トン) / 漁獲量(kg)

夏期の大量へい死 / 冬期のへい死

ヤマトシジミ資源量と漁獲量の上限の推移

シジミ漁獲量日本一の座から転落？！

カビ臭プランクトン / アオコの大量発生

ワカサギ漁獲量の経年変化

地域産業への悪影響

- 流通加工業の経営悪化
- 観光産業への悪影響

市民生活への悪影響

- 異臭を発する死の湖
- 憩いの場の喪失

「水の都松江」の象徴「宍道湖」の危機！！

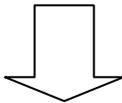
総合的なアプローチによる原因究明と対策が必要

[今後の取り組み方向]

第1段階 原因（何故）の究明

⇒ 想定される調査項目

- 何故カビ臭プランクトンが増大したのか？
- 何故アオコが大量発生するのか？
- 何故藻類や沈水植物が大量繁茂するのか？
- 魚類や貝類のバイオマスが何故減少したのか？
- 湖底に何故浮泥が堆積するのか？
- シジミの餌生物が何故減少したのか？
- シジミの産卵初期に何故低塩分化するのか？
- シジミが何故冬期に大量斃死するのか？



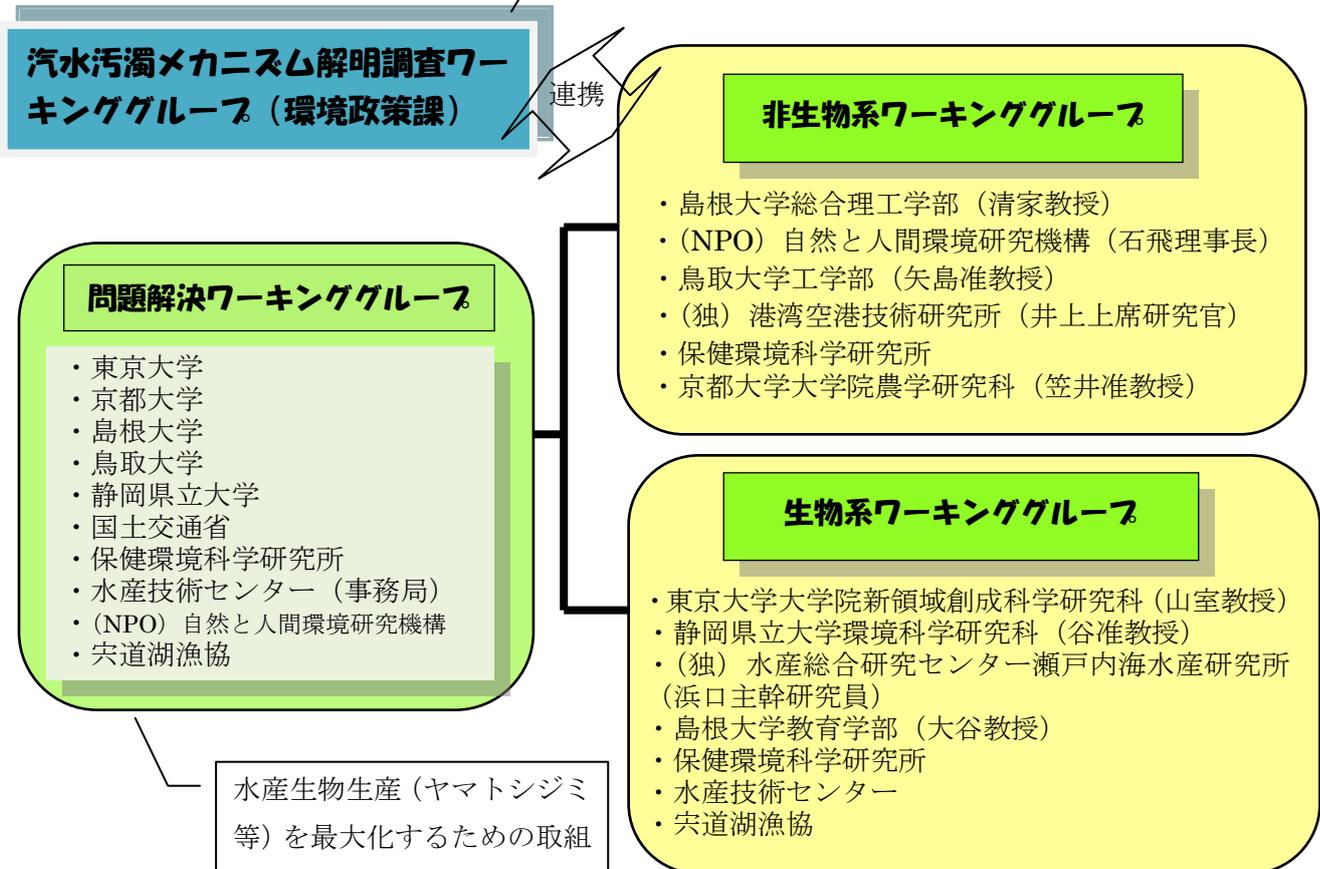
第2段階 対策の提言

- ①宍道湖・中海の環境変化の原因解明と改善方法の開発（非生物ワーキンググループ）
 - ・流入河川を含めた水質・栄養塩の経年変化と現状分析
 - ・流入河川を含めた土砂環境の経年変化と現状分析
 - ・水利モデル（環境政策課開発中のものを改良）による物理環境変化の解析と予測
 - ・生物多様性の維持を目的とする水質・土砂環境制御手法の開発
- ②宍道湖の生態系変化の原因解明と水産生物生産最大化のための技術開発（生物ワーキンググループ）
 - ・ヤマトシジミ資源減少原因の解明
 - ・ヤマトシジミ資源回復手法の開発
 - ・魚介類の減少原因の解明
 - ・アオコ・水生植物大量発生・繁茂の原因解明と制御技術の開発
 - ・生態系モデル（環境政策課開発中のものを改良）による変動原因の解析と管理手法の効果予測

1万トンのヤマトシジミ漁獲量を目指して

[調査体制(案)]

- 環境省主導
- 水質基準を達成するための取組



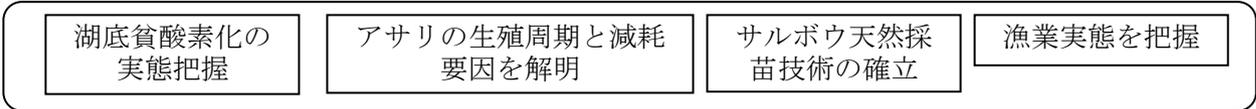
水産部門研究機関・環境部門研究機関・大学・NPO・河川管理者が連携して原因の究明と対策の検討を行う。

中海

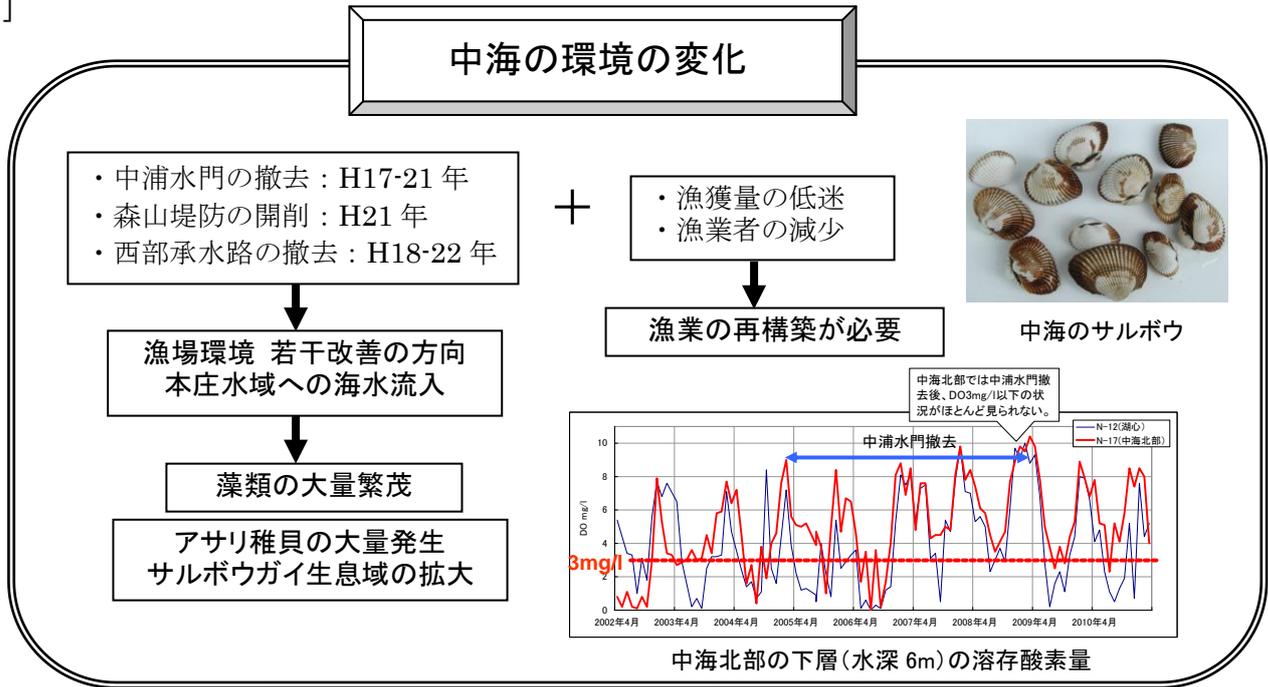
[経緯] 「第Ⅰ期宍道湖・中海水産資源維持再生構想」に基づく取り組み (H18~H22)



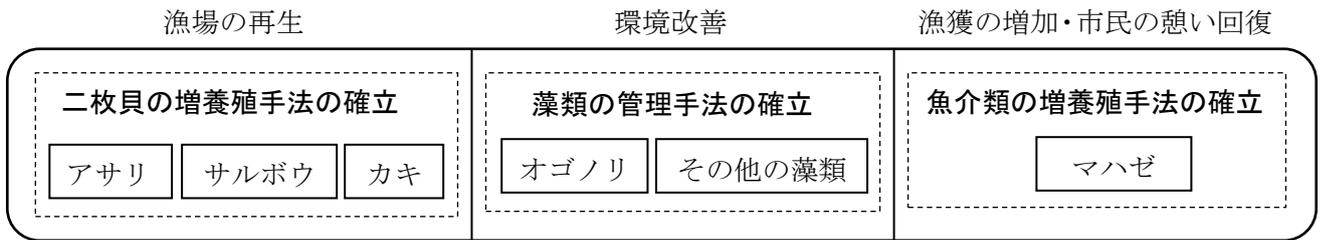
[得られた成果]



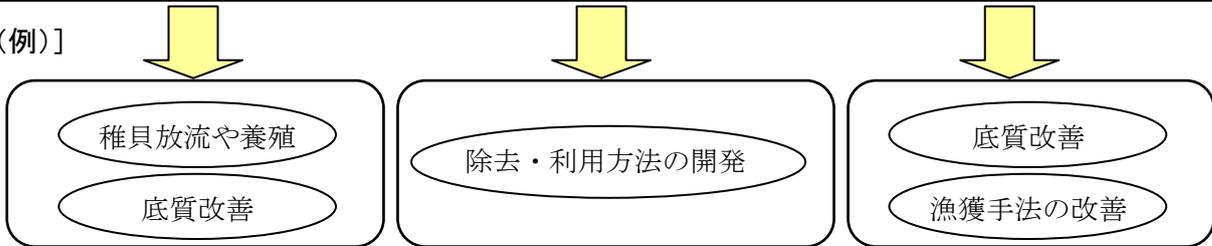
[現状]



[今後の取り組み方向]



[対策(例)]



[効果]

